

# 玉名市環境政策アセスメント 報告書 2020



令和3年3月

玉 名 市  
環境整備課

# 玉名市環境政策アセスメント 報告書 2020

## 目次

環境政策アセスメント .....	1
1. 制度の概要 .....	2
(1) 目的	
(2) 事務事業の評価	
(3) 事務事業の見直し	
2. 評価結果 .....	3
参考資料 .....	13
1. 市民提案事業 .....	14
2. 環境評価指標 .....	15

# 環境政策アセスメント



# 1. 制度の概要

## (1) 目的

「環境政策アセスメント」は、「第2次玉名市環境基本計画」に基づき、市民参加により環境に係る事務事業を評価する制度です。玉名市環境基本計画の核である「環境評価指標（本報告書 P15）」を用いて、市民の意見を市の環境に係る事務事業に反映することを目的としています。

## (2) 事務事業の評価

事務事業の評価は、「第2次玉名市環境基本計画 P47 第4編運用体系 第2章事務事業の評価」に基づいて行います。事務事業の細事業ごとに、妥当性、必要性、有効性の順に「環境評価指標（本報告書 P15）」と比較し、○・△・×で評価します。

### ◆ 評価基準の解説

要素	基準の解説
妥当性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が妥当であるか？ 例)「事業内容が指標の趣旨に適合しているか?」「関係のない事業ではないか?」 ○：妥当である      △：どちらともいえない      ×：妥当でない
必要性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が必要であるか？ 例)「民間ではなく市が主体的にやるべきか?」「他の事業と重複していないか?」 ○：必要である      △：どちらともいえない      ×：必要でない
有効性	1つ以上の評価指標を実現するために、当該事務事業が有効であるか？ 例)「事業を実施することで、期待されるような効果が得られそうか?」 ○：有効である      △：どちらともいえない      ×：有効でない

令和2年度の評価は、オンラインと紙のアンケートを併用して行いました。令和3年3月8日（月）から令和3年3月21日（日）にかけて市民の意見を募集し、11名の市民に評価していただきました。

### ◆ 評価シートの記入例

施策区分	事務事業	細事業	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数
施策区分①	事務事業A	細事業 a-1	○	○	×	-1点	-1点
		細事業 a-2	△	△	△	0点	
施策区分②	事務事業B	細事業 b-1	×			-1点	+2点
	事務事業C	細事業 c-1	○	○	○	+3点	
施策区分③	なし						0点
総合評価							+1点

採点方法：○は1つにつき1点、△は0点、×は1つでもあると-1点を付与する。

## (3) 事務事業の見直し

事務事業の見直しは、「環境政策アセスメント」の結果（本報告書 P3～12）を参考に行います。事務事業の所管課ごとに、事務事業の廃止・変更、継続及び新規事業の提案を判断し、必要に応じて、実施計画の作成、予算の要求を行います（「第2次玉名市環境基本計画」P48 参照）。

## 2. 評価結果

総合計画（基本計画）		環境政策アセスメント（令和元年度）								
主要施策 自然環境の保全	施策区分 地下水の保全	環境政策アセスメント（令和元年度）								
		評価指標	環境に関する事務事業（令和2年度）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
	地下水の保全	①硝酸性窒素が検出しな い ②除草剤の使 用量△25% ③水質が現在 よりも改善	地下水保全事業 136千円	①地下水採取量報告業務 136	○	○	○	3	12	評価指標数値の根拠は何？提出の義務から実施なのか
			旧焼却場等跡地水環境整備事業 8,914千円	①旧クリー ンセンタ ー汚水 処理運 転管 理業務 5,963	○	○	○	3		跡地管理はいつまでするのか。
				②旧焼却場等 地下水 水質 検査 業務 1,555	○	○	○	3		定期的な検査は必要と考えるが、もし異常が出た場合の対応はどうか。 汚染度の推移はどうなっているのか。
				③旧焼却場施 設等修 繕業務 1,306	○					永久性
	河川環境の保全	①自然に近い 川岸が保 護される ②生活雑排水 の適正処 理率ア ップ ③生き物が 豊富	河川環境保全 啓発事業 1,758千円	④旧クリ ンセン タ事 務運 営業 務 100	△	○	○	1		地区公民館としての利用があるな かで維持してもらおうにはいいか もしれない
				①河川水 源隊 事業 606	○	○	○	3		水環境大切
				②廃油 石け んの 普 及 事 業 149	○	×		-1		廃油石けんをつくるより、燃費削減へ、 普及方法も、もう考えました。使い 切れし廃品でなければ普及しない。ど の位の効果があるのか調査・検証する必 要はあるのか、経過観察
				③EM活 性液・ ほかの 普 及 事 業 455	○	×		-1		EM活性的な菌は必要と考える。EM菌、石けん を併用することで効果が上がる。EM菌は生 体等がいない状態に適用されず、効果が得 られず。EM菌がいない状態に適用されず、 効果は得られない。効果は得られない。 効果は得られない。効果は得られない。 効果は得られない。効果は得られない。 効果は得られない。効果は得られない。



総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和2年度）		環境政策アセスメント（令和元年度）							
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
				④天水石けん加工施設維持管理事業	天水石けん加工施設の光熱費・燃料費を負担する。状況により備え付けの機械等の修理をする。	403	No. 9	○	×		-1		石けん加工して造る石けんが不要品質の向上がかかせない。企業として常に研究してほしい。そういう企業を応援していきたい。出来た石けんはどうしていますか
				⑤川の水生生物調査業務	小字生を対象に、川の生き物調査を実施。生息している生き物の種類により、河川の水質の悪し悪しがわかる。河川の浄化意識につながる。	0	No. 10	○	○	○	3		継続的に実施
				⑥生活排水汚濁浄化施設維持管理業務	厩舎上区における生活排水汚濁浄化施設（栗石五浄水路）の水質浄化機能を維持するため、施設の清掃を定期的に行う。	25	No. 11	○	○	○	3		
				⑦河川環境通報等処理業務	油流出事故等の河川環境被害に対しての対応を実施し、環境の保全を図る。	120	No. 12	○	○	○	3		緊急性のある場合が多いと考え
			環境調査監視事業 621千円	①河川水質検査業務	河川の水質検査を実施し、水質の経年変化を把握する。	339	No. 13	○	○	○	3		水質検査は実施する必要と思うが、結果をふまえて、それをどう改善していくかをしなないとその後の取り組みも考えなくてはならないと考える。
				②工場排水土壌検査業務	特定工場の排水・土壌の調査、監視を実施する。	82	No. 14	○	○	○	3		特定工場に義務付けにすると良い
				③緊急水質土壌調査業務	突発的な事故等を要因とする水質、土壌調査を実施する。	200	No. 15	○	○	○	3		なにかおこるかわからないので必要。施策区分7に入れるべき。9市町民に（このイベントが）どのくらい周知されているのか？
31													

総合計画（基本計画）		環境基本計画			環境に関する事務事業（令和2年度）			環境政策アセスメント（令和元年度）								
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント			
沿岸環境の保全  森林環境の保全		①魚類の再生 ②ごみがない ③自然に近い海岸が保護される  ①森林から竹が駆除される ②広葉樹の増加 ③定期的に間伐が実施される	菊池川流域同盟事業 1,120千円	①菊池川流域同盟事業	菊池川流域の市町により河川浄化を図るための負担金。流域の運搬強化と水の大切さをアピールするイベントや植林、水質調査を行う。	1,120	No. 16	○	○	○	3		全体としての啓発活動には良い。活動内容の精査が必要。広域での取組みとなり、いろいろな面で難しいところがあるかと思う。住民の見える化をもっとすすめる事業と思う。			
			悪用水路整備事業 45,000千円	①悪用水路整備事業 ②悪用水路整備委託事業 ③排水路整備に伴う機械借上事業	生活用水路の改良を行う。 生活用水路の改良を委託で行う。 排水路工事に付帯する浸透等の課題で工事にならないものに対し、機械借上料を支給する。	37,260 6,760 500	No. 17 No. 18 No. 19	○ ○ ○	○ ○ ○	△ △ ○	2 2 3		川が死んでしまうようなやり方はやめましょう。生き物への配慮が足りない。コンクリートで固める方法もありだが、どうなんだろう。 川を守るとはコンクリートを使わないことです。 必要です。機械の力をかりましょう。			
			なし	排水路整備に伴う原材料支給事業	排水路工事に付帯する浸透等の課題で工事にならないものに対し、原材料を支給する。	500	No. 20	○	○	○	○	3		川の環境がかわらないことが大事です。 U字溝の支給なら逆効果		
			なし											0		
			なし												0	
						環境衛生総務費 1,067千円	①環境衛生総務費	旧横島村管理地の環境衛生保全	1,067		—			-1	-1	

総合計画（基本計画）		環境基本計画				環境に関する事務事業（令和2年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）					
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント		
環境保全への意識啓発	環境保全意識の向上	①自然環境に関心がある市民の割合が80%以上 ②ISO14001事業所の増加 ③ごみ拾い活動の実施回数増加	ふるさとと五名の環境づくり事業 971千円	①環境基本計画進捗管理業務	第2次五名市環境基本計画に基づき、環境に係るすべての事務事業を市民参加により評価し、見直しを図る。	87	No. 21	○	○	○	3	15	より多くの市民を巻き込んでほしい 関心はあるが、何かしら実行に向けての動きに対してはそうなのと思う  予算額が0円なのが気になる 行動に向けての取組みに対しての協力、強化策を考えないといけない。  施策区分8に入れるべき 数値化、目標設定、PDCAの繰り返して目標クリアーを目指す！ 活動がなかなか見えてこない		
				②自然環境の保全業務	生物多様性など自然環境を保全するための啓発活動を行う。	0	No. 22	○	○	○	3				
				③地球温暖化対策実行計画推進業務	五名市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市施設の02排出量を調査し、2018年度から2030年度までに2013年年度比で40.09%の削減を図る。	185	No. 23	○	○	○	3				
				④地球温暖化対策地域協議会補助金業務	補助金を交付し、協議会の活動を支援する。	200	No. 24	○	○	○	3				
				⑤環境教育事業	市内の小中学校の児童生徒を対象として、環境教育を実施する。	499	No. 25	○	○	○	3				
				環境美化推進事業 102千円	①河川清掃業務補助事業	菊池川・栗川及び紫根木川の清掃作業を定期的に行っている団体に対して補助金を交付する。	100	No. 26	○	○	△			2	ボランテアの人にも楽しみは必要です。 団体が備っていないか？ 参加する人は意識があるが、そうでない市民全体にゴミを散らさないことをピーアール必要と思う。
				②環境美化行動・クリーン作戦事業	市民や関係団体に参加を呼びかけ清掃作業を行う。	2	No. 27	○	○	○	3			ゴミの入ったボランテア袋はゴミ出しステーションに以前のように出して良いように戻し、市が呼びかける必要はない クリーン作戦への参加を呼びかける方法を、考えたい。	



総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和2年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）							
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント		
公害の防止	公害の防止	①企業倫理の復活 ②騒音苦情発生率が現状よりも改善 ③大気・水・土壌汚染数値の減少	公害防止対策事業 3,634千円	①公害苦情処理業務	苦情申し立てによる現場確認、指導。	30	No. 28	○	○	○	3	19	参加者コメント		
				②水質事故対策業務	油流出事故発生時の油回収、中和作業	718	No. 29	○	○	○	3		油を流出させない取組みが必要		
				③騒音・振動に関する届出業務	騒音規制法、振動規制法、熊本県生活環境の保全等に関する条例に基づく騒音・振動の規制に係る事務のうち、届出の受理に関すること	96	No. 30	○	○	○	3		届出を受理するだけではダメ		
				④野焼き行為対策業務	野焼き禁止の指導・啓発	0	No. 31	○	○	○	3		施策区分11に入れるべき 啓発の徹底		
				⑤一般苦情処理業務	空き地の不適正管理による苦情等、軽微な公害苦情の対応	0	No. 32	○	○	○	3				
				⑥光化学スモッグ発生・解除連絡業務	光化学スモッグ注意報、警報等の情報を市民に提供するため、また、情報伝達訓練を実施する。	0	No. 33	○	○	△	2				
				⑦自動車騒音監視業務	道路を走行する自動車等の運行に伴い発生する騒音を計測し、国へ報告する。	2,790	No. 34	○	○	△	2		騒音を測定するだけでは意味がない		
				新幹線環境対策事業 0千円	新幹線環境対策事業 0千円	①新幹線建物日陰対策事業	新幹線建設に伴う日陰対策	0	No. 35	○	△		×	-1	
						②新幹線振動・騒音対策事業	新幹線建設に伴う振動・騒音対策	0	No. 36	○	△		△	1	

総合計画（基本計画）		環境に関する事務事業（令和2年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）								
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント	
	温暖化の防止	①バイオマス発電施設が増加 ②節電取組み件数が増加 ③公共交通機関利用者の拡大	なし									0		
循環型社会の形成	ごみ分別収集の推進	①資源ごみ種類ごと回収量が増加 ②分別方法の認識向上 ③ごみ減量10%	一般廃棄物適正処理事業 165,772千円	①廃棄物収集運搬委託業務	家庭から排出される廃棄物の収集運搬について廃棄物処理業者に対し委託を行う。（平成24年度から鶴岡・天水地区も民間委託）	152,711	No. 37	○	○	○	3		施策区分101に入れるべき 家庭ごみ等の収集及び焼却に予算がいかに計上されているか、市民は理解しているのか、ごみ減量10%と目標に準じているか、どうでしよう。ここでも見える化が必要なのは。強化日・月間等を設け、強化、協力をお願いするとか、現状は？	
				②不法投棄処理委託業務	不法投棄に対し、市内を5分割し、それぞれを廃棄物処理業者に巡回や回収を委託する。	5,077	No. 38	△	○	△	1		施策区分111に入れるべき 地区の住民が不法投棄を見たら区長を通して市に知らせる現状は	
				③不法投棄対策事業	不法投棄に対し、投棄された地権者等に助言や指導を行い、また重点地域には看板等を設置するなど不法投棄をなくす環境づくりを行う。	682		○	○	○	3		施策区分111に入れるべき	
				④プラスチック類処理委託	家庭から出されるごみの中のプラスチック類を再利用のため、新たに中間処理を委託する。	6,345	No. 40	○	○	○	3		16	実情は？データが欲しい

総合計画（基本計画）		環境基本計画				環境に関する事務事業（令和2年度）				環境政策アセスメント（令和元年度）				
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント	
循環型社会システム構築	環境型社会システム構築	①生ごみの堆肥化向上 ②住民の意識向上（3Rに努める） ③再利用率は70%を超えている	有明広域行政事務組合業務共通経費負担金事業	⑤コンテナ回収用エコバッグ等作成業務	資源物の回収を行う行政区分等のためにコンテナ回収用エコバッグを作成し配布する。	957	No. 41	○	○	○	3		必要なものでず 行政はコンテナ回収を推進すべき エコバッグが汚い。きれいにし だしているのので、清潔な物に、入 りたい。	
			ごみリサイクル 減量化事業	⑥一般廃棄物 処理（収集運 搬）許可業務	処理区域の事業所 から排出される廃 棄物について、収 集運搬を行う産業 物処理業者に対 し、処理区域内で の活動の許可を与 える。	0	No. 42	○	○	○	3			
			有明広域行政事務組合業務共通経費負担金事業	①有明広域行政事務組合業務共通経費負担金事業	清掃施設、衛生施設、斎場等各施設 の維持管理に伴う 人件費等負担金	21,205	No. 43	○	○	○	○	3		生ごみは親実的でない
			ごみリサイクル 減量化事業	①ごみ袋作製 委託業務	ダイオキシンを抑制し、環境にやさしい市の指定ごみ袋の作成委託	65,747	No. 44	○	○	○	○	3		入札すべき。減量になっているの だろうか。
			ごみリサイクル 減量化事業	②生ごみ処理 機等購入費補助 事業	ごみ減量化のため 家庭用電生ごみ 処理機やコンボス トの購入に対し1/2 又は上限3万円の 補助を行う。	1,300	No. 45	○	○	○	○	3		電氣を使つても、処理する必 要があるのか、気になっている。 私は、即を使つて、堆肥化してい る。可動しているか
			ごみリサイクル 減量化事業	③ごみ収集力 レンダー等作 成業務	ごみ分別収集の徹 底を図るため、市 民が利用しやすい ごみ収集カレン ダー等の作成。	1,387	No. 46	○	○	○	○	3		施策区分9に入れるべき
			ごみリサイクル 減量化事業	④ごみ分別等 相談・啓発業 務	ごみの分別や収集 に関する電話相 談・現場立会い・ 分別指導・啓発を 行う。	0	No. 47	○	○	○	○	3		施策区分9に入れるべき
			ごみリサイクル 減量化事業	⑤ごみ集積場 所等管理業務	区からのごみ集積 場所の新設・移 動・廃止などの要 望に対応。	0	No. 48	○	○	○	○	3		ごみ置き場の管理は必要です。お 金を払ってお願いしたい。 施策区分9に入れるべき

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和2年度）		環境政策アセスメント（令和元年度）							
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
				⑥一般廃棄物 処理計画策定 事業	毎年度、一般廃棄物 処理計画を策定 する。	0	No. 49	○	○	○	3		
				⑦五名市分別 収集計画作成 業務	容器包装リサイク ル法に基づく分別 収集計画を5年に1 度策定。また、3 年に1度見直しを する。	0	No. 50	○	○	○	3		容器包装リサイクルを推進しては どうか 公表すべき
			清掃施設関係 負担金事業 689,420千円	①公営健康被 害補償費負担 金業務	公営健康被害補償 制度賦課金に伴う 負担金	420	No. 51	△	○	△	1		
				②有明広域行 政事務組合東 部清掃費負担 金業務	東部環境センター における廃棄物処 理費負担金	453,640	No. 52	○	○	○	3		
				③有明広域行 政事務組合1 市3町清掃施 設建設費負担 金業務	クリーンパーク ファイブ建設に伴 う負担金	50,078	No. 53	○	○	○	3	40	
				④有明広域行 政事務組合ク リーンパーク ファイブ費負 担金業務	クリーンパーク ファイブにおける 廃棄物処理費負担 金	137,600	No. 54	○	○	○	3		
				⑤有明広域行 政事務組合 パークファイブ 費負担金業 務	有明広域行政事務 組合多目的公園 パークファイブ維 持管理費負担金	657	No. 55	○	○	○	3		
				⑥五名市五東 町清掃施設建 設費負担金	清掃施設建設のた めの負担金	47,025	No. 56	○	○	○	3		
			し尿処理施設 等管理運営事 業 161,382千円	①水の守運転 管理業務	水の守の運転管理 業務を委託。水の守 ※R2から水の守 (新施設) 供用開 始	94,452	No. 57	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない

総合計画（基本計画）		環境基本計画		環境に関する事務事業（令和2年度）		環境政策アセスメント（令和元年度）							
主要施策	施策区分	評価指標	事務事業	細事業	内容	予算額 （千円）	整理No.	妥当性	必要性	有効性	点数	合計点数	参加者コメント
不法投棄の監視強化		①地域住民の監視の目が厳しくなる ②住民の意識向上（ポイ捨てしない） ③不法投棄の発生率が現在よりも改善	なし	②公衆便所管理業務	市内4か所にある公衆便所の管理業務を委託。	988	No. 58	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない
				③一般廃棄物処理（し尿）・浄化槽清掃業許可業務	一般廃棄物処理（し尿）・浄化槽清掃業者に対して処理区域内の活動を許可。	0	No. 59	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない
				④有明広域行政事務組合衛生費負担金業務	一部事務組合衛生費負担金の支出	54,098	No. 60	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない
				⑤有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金業務	一部事務組合衛生施設建設費負担金の支出	10,744	No. 61	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない
				⑥有明広域行政事務組合衛生施設設置市町負担金	岱明町にある第1衛生センター改修費に係る負担金を支出する。	1,100	No. 62	○	○	○	3		施策区分変更で指標と合わない

### ◆採点方法及び評価結果の見方

まず、細事業ごとに採点し、“○”は1つにつき1点、“△”は0点、“×”又は“—”は1つでもあるとー1点を付与します。次に、施策区分ごとに細事業の点数を合計します。最後に、施策区分ごとの合計点数を集計し、総合評価を算出します。

総合評価の点数が高ければ高いほど、本市の環境に係る事務事業が「環境評価指標（本報告書P15）」に適合しており、市民の意見が事務事業に反映されていることを示しています。

総合評価

134

※ 2019年度から64ポイント増加



### ◆環境政策アセスメント全体についての意見

- ・アンケートの数が多すぎてくたびれました。どのようにつくったがいかアイデアは浮かびません。ただ途中で一時保存ができるように途中でボタンがあるといいと考えます。
- ・一定の時間内に回答しないとよろず申請本舗がタイムアウトとなり、最初から入れ直す手戻りが生じた。
- ・予算配分が、ごみ分別収集や循環型社会システムの構築に極端に偏っている。
- ・目標設定を数値化できないか
- ・市民をまきこんだ運動はできないか
- ・啓蒙を幅広く、広報等の今以上の活用。
- ・いつまでに実現させるという動き
- ・何をするか優先順位をつける
- ・客観的に判断できるようにすることは、全体的に何をどうする
- ・今こんなことをしていますで終わっている感が強い。
- ・すべきことをもっとつめること！
- ・評価後の対応はほぼ「なし」となっていますが、評価することが重要ではないかと思いますが・・・

## 参考資料



# 1. 市民提案事業

「環境政策アセスメント」の番外編として、令和元年10月30日（水）に市民提案事業を考えるワークショップ（12名参加）を開催しました。「環境政策アセスメント」の結果（本報告書P3～12）を受けて、「環境評価指標（本報告書P15）」のうち対応する事務事業がまったく存在しない5つの施策区分について、新規事業のアイデアを提案していただきました。

提案なし

## 【施策区分③】沿岸環境の保全

## 【施策区分④】森林環境の保全

提案No. 1  
【森林環境の保全】

間伐事業



杉・ひのきの間伐も実施することによって、広葉樹を増やし、自然の多様性を取り戻し、結果として水の保全も望むことができる。


予算額 10,000千円

## 【施策区分⑥】環境保全活動の支援

## 【施策区分⑧】温暖化の防止

提案No. 5  
【環境保全活動の支援】

環境について考え、行動する子供と育てる事業




様々な環境活動の専門家と連携し、小中学校へ派遣する団体をつくる。  
小中学校に定期的に教えに行くと。

予算額 100,000千円

提案No. 2  
【温暖化の防止】

生活の足タクシー事業




小学校区ごとにたれでも利用できる低料金（ワンコイン程度）タクシーを複数台常駐し、買物、病院などへ気軽に利用する。趣味マイカーの時にも、なるべく乗り合わせる。

予算額 1億34万千円

## 【施策区分⑪】不法投棄の監視強化

提案No. 3  
【不法投棄の監視強化】

ゴミ削減システムの構築事業

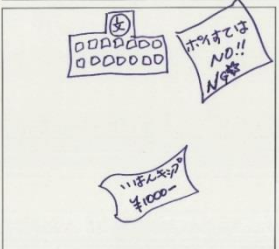


1. デジタル化の導入  
2. 製造者のゴミ処理費用の負担制度  
3.

予算額 300,000千円

提案No. 4  
【不法投棄の監視強化】

ポイ捨て削減システムの構築



1. ポイ捨てをしてはいけませんという価値感を持つ子どもたちの教育  
2. ポイ捨ての罰則化

予算額 15,000千円

## 2. 環境評価指標

「環境評価指標」は、「第2次玉名市環境基本計画」の策定に伴い、市民参加ワークショップを通して選定された指標（「第2次玉名市環境基本計画」P42 参照）です。「環境政策アセスメント」を行う上での基礎となり、市民の価値観を行政の事務事業に反映させる役割を担っています。

主要施策	施策区分	評価指標 1	評価指標 2	評価指標 3
自然環境の保全	①地下水の保全 	硝酸性窒素が検出しない	除草剤の使用量 △25%	水質が現在よりも改善
	②河川環境の保全 	自然に近い川岸が保護される	生活雑排水の適正処理率アップ	生き物が豊富
	③沿岸環境の保全 	魚介類の再生	ごみがない	自然に近い海岸が保護される
	④森林環境の保全 	森林から竹が駆除される	広葉樹の増加	定期的の間伐が実施される
環境保全への意識啓発	⑤環境保全意識の向上 	自然環境に関心がある市民の割合が80%以上	ISO14001事業所の増加	ごみ拾い活動の実施回数増加
	⑥環境保全活動の支援 	環境保全活動団体数が増加	小中学校の環境保全実施件数が増加	環境保全型農業の増加
	⑦公害の防止 	企業倫理の復活	騒音苦情発生率が現状よりも改善	大気・水・土壌汚染数値の減少
	⑧温暖化の防止 	バイオマス発電施設が増加	節電取組み件数が増加	公共交通機関利用者の拡大
循環型社会の形成	⑨ごみ分別収集の推進 	資源ごみ種類ごと回収量が増加	分別方法の認識向上	ごみ減量 10%
	⑩循環型社会システムの構築 	生ごみの堆肥化向上	住民の意識向上（3Rに努める）	再利用率は70%を超えている
	⑪不法投棄の監視強化 	地域住民の監視の目が厳しくなる	住民の意識向上（ポイ捨てしない）	不法投棄の発生率が現在よりも改善

※評価指標の1～3は、優先順位（得票順）を表す。